

平成30年度 新産業創造事業化研究会 「第2回 新事業探索オープンセミナー」

「Connected Industries 等を通じた Society 5.0 の実現に向けて」

近畿経済産業局 次世代産業・情報政策課 課長 森下 剛志 氏

■講演内容

1) 第四次産業革命

- ・第四次産業革命では、IoT、ビッグデータ、AI、ロボットを用いて、これまで不可能と思われていた社会の実現が可能になる。
 - ① 個々のニーズに合わせたカスタマイズ生産・サービス、コストゼロでマッチング
 - ② 人間の役割、認識・学習機能のサポートや代替
 - ③ データ共有によるサプライチェーンの効率化
- ・我が国が活かすべき強み・機会は、多様で活用可能性の高い「リアルデータ」の蓄積、「モノ」の強さ(先進技術をいち早く取り込み、モノを刷新し続ける力)、社会課題の先進性・大きさ(必要は発明の母)である。
- ・Connected Industries5.0 コンセプト
 - ① 人と機械・システムが協調する新しいデジタル社会の実現
 - ② 協力や協働を通じた課題解決
 - ③ デジタル技術の進展に即した人材育成の積極推進
- ・Connected Industries5.0 により、各データの繋がり、有効活用により技術革新、生産性向上、技術伝承等が図れ課題解決に繋がることを期待する。

2) 第四次産業革命に挑戦する中堅・中小企業への支援施策

- ・生産現場における課題解決のための IoT・AI・ロボット導入事例紹介
 - ① 武州工業：スマートフォンを利用した機械動作情報収集
 - ② 今野製作所：スマート工場実証(受注・開発・生産を一体的に推進できるプラットフォーム)
 - ③ 西日本プラスチック製品工業組合：スマート工場(射出成形メーカーと連携した不良率低減・ライン停止防止システム)

3) 近畿経済産業局の IoT・ロボテックス等の取り組み

- ・関西スマートものづくり応援隊(生産現場に秀でたOB・IoT・ロボット等に知見ある人材で構成)、関西ものづくり IoT 推進連絡会(関西の IT 関連団体、電気計測器関連団体、電子機器・電子部品関連団地等により設立)を組織して、関西における IoT を推進している。